

DIY 施工ガイド

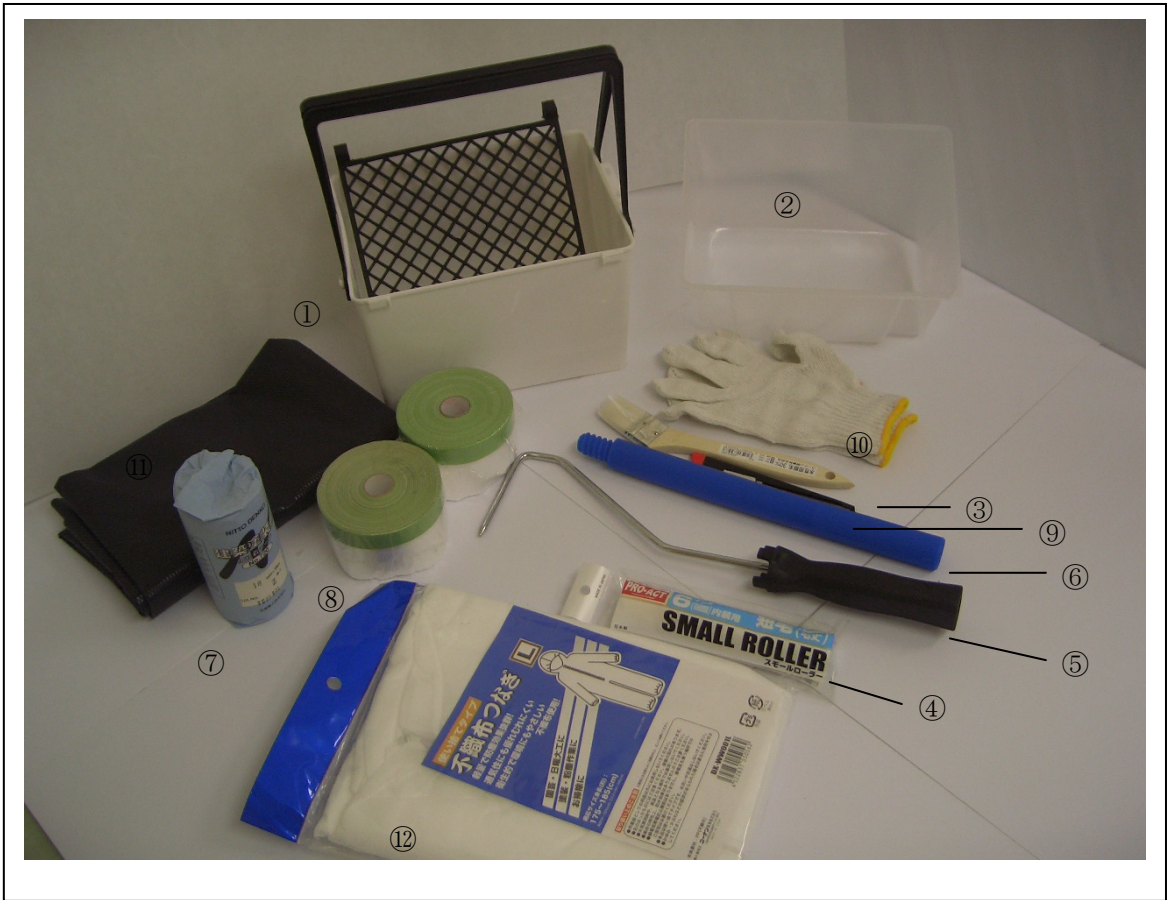
<コンセプト>

全く DIY をしたことのない女性でも、仕上げられるために。

1. 道具の準備をしましょう

(あれば便利ですが、必ず「これ」でなければならないというものではありません。)

①	ローラーバケット (ネット付)	1 個	「クレイペイント」を小分けします
②	上記用カートリッジ	1 個	①のカートリッジです
③	ハケ	1 本	主に、「すみっこ」を塗る時に使います
④	ローラー	1 本	平面を塗る時に使います
⑤	ローラーハンドル	1 本	ローラーを取り付けて使います
⑥	上記用つぎ柄	1 本	高いところを塗る時にローラーハンドルにつけて使います
⑦	マスキングテープ	1 本 (7 巻)	養生をする時に使います
⑧	マスキナー	2 巻	養生をする時に使います
⑨	カッター	1 本	マスキナーなどを切る時に使います
⑩	軍手	1 組	「クレイペイント」を塗る時に使います
⑪	トントンシート	1 枚	道具を並べて置く時に使います
⑫	ツナギ (不織布)	1 枚	洋服が汚れないように着ます (使い捨てタイプです)
⑬	計量カップ	1 個	「クレイペイント」を小分けする時に使います
⑭	フライ返し	1 個	「クレイペイント」をかき混ぜる時に使います
⑮	あく取り	1 個	「クレイペイント」に入ったゴミをすくう時に使います
⑯	脚立	1 脚	高いところの養生などをする時に使います
⑰	雑巾 (またはキッチンタオル)	1 枚	汚れた時に使います
⑱	古新聞	数枚	床を養生したり、汚れたものを置く時につかいます



～ MEMO ～

上記の道具はすべて「ホームセンター」で販売されています。

⑬～⑮は「100円」ショップで売っているものです。

2. 作業スペースを確保しましょう

*塗る部分をはっきり決めて、その部分はもちろん、ハケやローラーを塗るだけの作業スペースをあげましょう。

*家具などもこのときに、しっかり移動させましょう。

～ MEMO ～

作業を始めてから物を移動するのは、思いのほか大変です。

はじめのうちに、出来るだけひろ～いスペースをとりましょう。

3. 養生をしましょう

*塗るところと、塗らないところを分ける作業です。

*"⑦マスキングテープ"で窓枠や扉枠、床との境などを養生しましょう

*次にマスキングテープではできない、塗らない、広い部分を"⑧マスカー"で養生しましょう。窓ガラスや、塗らない扉など。この時、マスキングテープの上にマスカーのテープ部分に重ねて張りましょう。

*床には"⑩古新聞"をひきつめて、汚れ防止をしましょう。

*使うものは、全部"⑪トントンシート"の上に集めて並べましょう。万が一汚れた時、黒なのでひと目で分かります。水などをこぼしたとしても、下に染み出たりしません。

～ MEMO ～

"養生命(ようじょういのち)"です。慣れるまでは、難しいと感じるかもしれませんが、この作業の良し悪しで、仕上がりには大きな差がつきます。この養生の作業が終われば、後は塗るだけです。

4. 塗料の準備をしましょう

*塗料をよく混ぜましょう。とにかく、たくさん混ぜましょう。

*まず、フタを開ける前に、容器ごとゆすりましょう。10L 缶の場合は、大変重たいので、容器を横に倒し、「ゆっくりと」ゴロゴロ揺らすとラクです。

*手が汚れる前に、"⑩軍手"をしましょう。知らない間に、ついてしまうものです。

*フタを開けたら、"⑭フライ返し"などで、底からしっかり混ぜましょう。トロトロになるまで混ぜてください。(おいしそうに見えたら OK ですよ。)

*この時、ゴミや、塗料の固まりが入ったら、"⑮あく取り"ですくって取ってください。

*混ぜた「ルベイト」を"②カートリッジ"をセットした"①ローラーバケット"に"適量"移しましょう。この時"⑬計量カップ"を使って、取り分けると難しくありません。

*水は5%まで、入れて延ばすことができます。が、必ず入れることをおススメするものではありません。延ばさず、そのまま使うことが、いい時もたくさんあります。

～ MEMO ～

塗料があまった場合、そのまましばらく保存できますが、もともとの缶の中に、直接水を入れたり、ハケやローラーなどを入れたりしないでください。入れると、自然の物なので、すぐに腐ってしまいます。

5. ハケで入隅（端部）を塗りましょう

*ローラーだけでは、「すみっこ」までペンキが入らない場所に、先に“③ハケ”でぬっておきましょう。

*この時は、“⑩脚立”が必要な場合が出てくるでしょう。怪我のないよう、スリッパやかかとのない履物などを履いたまま、上がらないようにしましょう。

6. ローラーで面を塗りましょう

*“⑤ローラーハンドル”に“ローラー”をセットしたもので、塗っていきましょう。この時、高い場所は、“⑥つぎ柄”を“⑤ローラーハンドル”のおしりにつけて、なるべく脚立に乗らなくてもいいようにしましょう。

*1 回目は、多少ムラがあっても大丈夫です。全体的に塗料が塗れていればいいので、気にし過ぎにご注意です。

7. 乾燥させましょう

*ひと通り濡れたら、乾燥させましょう。乾き始めると色が変わっていくのが分かるでしょう。目安は2時間程度です。

8. ハケで入隅（端部）を塗りましょう（2回目）

*1 回目と方法は同じですが、仕上りの意識を持って塗りましょう。

9. ローラーで面を塗りましょう（2回目）

*これも1回目と塗り方は同じですが、今度は、これで仕上げですから、丁寧に塗りましょう。ローラーも同じ方向に動かして塗り仕上げましょう。

10. 乾かないうちに、養生をはずしましょう

*全部塗り終わった、「クレイペイント」が乾かないうちに静に、ハシから養生をめぐっていきましょう。この時、仕上りをチェックしながら、めくりましょう。まだ、「クレイペイント」は乾いていけませんので、はがした養生が、仕上げたところについたりしないように注意しましょう。

～ MEMO ～

「クレイペイント」が乾いてしまったら、どうなるのでしょうか？

その答えは、養生が、キレイにめくれなくなります。なので、「乾かないうちにはずす」です。ご注意くださいね。

11. 乾燥させましょう

*しっかり乾燥するまでは、触らないようにしましょう。家具もびったりくっつけないようにしましょう。

*完全乾燥までは、12時間程度かかります。じっくり、しっかり乾かしましょう。

～ MEMO ～

乾かないうちに家具等を近づけると、カビが生える原因になります。

12. 後片付けをしましょう

*使った道具はすべて水洗いが出来ます。しっかり洗い、「クレイペイント」をおとしたら、乾かしてください。ローラーやハケは消耗品です。使う程度により、次に使えない場合もあります。

13. 完了！

これで、完了です。出来具合は、いかがですか？ポイントさえ抑えれば、思うより、気軽にできあがったのではありませんか？あなたの感想を、よろしければ是非、お知らせください。

<<必ず、守ってください>>

*安全な塗料ではありますが、食べたり、飲んだり、体に塗ったりしないで下さい。人にも動物たちにも。

*「クレイペイント」の入っている容器は、プラスチックですので、強い力でたたいたり、投げたりしないでください。破損する場合があります。

*養生をめくったあとのゴミになった養生材や、「クレイペイント」の容器などのゴミは、各自治体で決められた、ゴミ分別方法に従って、処理して下さい。

【提供】

有限会社インテリア トム

ホームページ : <http://www.interior-tom.com>

クレイペイント専用 : <http://claypaint.seesaa.net/>
